

平成14年4月1日

各 位

会 社 名 石 原 産 業 株 式 会 社  
コード番号 4 0 2 8  
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 管 理 本 部 長  
藤 田 勝  
T E L ( 0 6 ) 6 4 4 4 - 1 8 5 0

遺伝子機能解析用 HVJ エンベロープベクターキット  
商品名：ゲノムワンの発売

石原産業（株）（代表取締役社長 溝井正彦）は、4月1日より遺伝子機能解析用 HVJ エンベロープベクター・キット“ゲノムワン”の本格的製造販売に乗り出す。

国内では、大学・研究機関、製薬会社などを対象に、1キット当り 55,000 円で同社が直接販売する。同時に、シンガポール、韓国でも販売を開始する計画をしており、初年度には5億円の販売を目指す。欧米については、注文に即応できる出荷体制を整え次第、引き続いて販売を開始していく。

HVJ エンベロープベクターは、金田安史・大阪大学教授（大学院医学系研究科 未来医療開発専攻 遺伝子治療学）が開発し、使用するウイルスは、完全に不活性化されている非ウイルスで、この表面の膜に存在する蛋白質の作用で細胞膜と融合する能力をもっている。（この細胞融合能は、岡田善雄・大阪大学名誉教授によって発見された）

HVJ エンベロープベクターは、その細胞融合能を利用して、遺伝子を細胞内に直接導入することにより、遺伝子機能を発現させる非ウイルス系ベクターで、市販の非ウイルス系ベクターとは異なる全く新しいメカニズムを持っている。

石原産業は、アンジェス エムジー(株)が開発したHVJエンベロープベクターの生産技術にもとづき、工業的生産技術を確立し、昨年12月には同社四日市工場に建設した専用設備で“ゲノムワン”を製造できる体制を整えた。

大学・研究機関にサンプルを提供し、高い評価をいただくとともに、石原産業自らも大学・研究機関を訪問し“ゲノムワン”による新しい遺伝子導入技術の紹介や性能の実証に努めてきた。

これらの過程で研究者から多くの意見や期待が寄せられた。石原産業は、研究者の貴重な意見を製品の改良に生かす開発に取り組み、高性能かつ汎用性のある商品開発に目途を得たので、発売に踏み切った。引き続き、一層高機能な商品開発にも努めている。

“ゲノムワン”は、従来のベクターに比べ多くの優れた特長を持っている。従来の技術では導入が非常に困難であった血球系細胞への導入を可能とし、特に次世代の治療薬として期待されているアンチセンスオリゴをはじめとする低分子核酸や蛋白質の導入に威力を発揮する。

また、培養細胞から動物個体まで一環して使用できることを特長とし、細胞レベルでのスクリーニング結果を生体で検証することができ、未知遺伝子の機能解析や遺伝子の探索研究の迅速・効率化に貢献できる。

更に、細胞毒性が低く、短時間で導入でき、且つ操作も簡便なことから、遺伝子機能の解析研究の他、創薬・DDS（ドラッグ・デリバリーシステム）・遺伝子治療研究のスタンダードツールとして、今後、遺伝子機能解析用キット“ゲノムワン”の市場は急速に拡大すると石原産業は予測している。

「人工ウィルスベクターのホームページ」を  
ご覧になりたい方はここをクリックしてください。

以上